

医歯学祭を終えて

医歯学祭実行委員長 歯学科3年 木村 愛理

2011年は医学部の方々と協力して、10月15、16日に第1回医歯学祭を迎えることができました。医学祭、歯学祭を互いにより価値の高いものになりたい、歯学部について多くの方々に知ってもらいたいという思いで合同開催を決意しましたが、初めての試みであり、期待とともに不安一杯の船出でした。歯学祭の伝統を引き継ぎながら、新たなものを築くためにはどうするのか、何カ月前から各係のチーフを中心に医学部の方と話し合いを重ね、準備をしてきました。私自身実行委員長を務めるにあたり至らない点が多々あったと思いますが、“今年は新たなものに挑戦する”という私の気持ちに手をさしのべ応えてくれた、歯学部の先生や先輩方、チーフを始めとする2、3年生には大変感謝しています。

さて、今年のテーマは『つながり～誰かの為の医歯学祭～』でした。全てのひとはどこかでつながり支えあっています。昨年3月11日に起きた東日本大震災は、特に東北地方に大打撃を与え、その復旧は始まったばかりです。少しでも貢献したいという思いから医歯学祭の売上の一部を東日本

大震災の義援金に寄付することに決めました。自分達が楽しむだけでなく、誰かの為に役立つような医歯学祭であればとの願いを込めたつもりです。主にバザーや模擬店の売り上げの一部を寄付させていただきました。ご協力ありがとうございました。

歯学部からは、例年同様、3年生が主体の無料歯科相談やミラクル フルーツ体験など「歯」に関する催し物を多く用意しました。

また、二日目に新潟県のご当地アイドルねぎっこのステージがあり、会場を多いに盛り上げてくれました。模擬店も、テニス部、1年生、3年生、バドミントン部、口腔カフェの5店が出店してくれました。他にも軽音楽部のライブや茶道部の茶会といった出し物があり、盛会でした。例年と会場が違う中、会場設営も大変でしたが、協力ありがとうございました。

2011年は医歯学祭の歴史の1頁が開いた年です。2012年は、更に工夫を重ね、より充実した医歯学祭になるように後輩に夢を託したいと思いません。頑張ってください。心から応援します。

